

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	航海学演習
科目基礎情報					
科目番号	0100		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	大島丸実習ノート/キャリアデザインノート/配布資料/レーダ観測者用レーダ・自動衝突予防援助装置シミュレータ講習用教本				
担当教員	千葉 元,石田 依子,久保田 崇,木村 安宏,前畑 航平,森脇 千春,村田 光明,中村 泰裕,浦田 数馬				
到達目標					
1. 航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得する。 2. 船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得する。 3. 海技者・社会人として必要な一般的な素養やキャリアデザインについて理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得することができる。	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得することができる。	航海士に必要な基礎知識・技術、特に船橋内の航海計器を中心に習得できない。		
評価項目2	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得することができる。	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得することができる。	船橋内の航海計器に自分自身が触れ、起動・設定・操作を習得できない。		
評価項目3	海技者・社会人に必要な一般的な素養やキャリアデザインについて理解できる。	海技者・社会人に必要な一般的な素養やキャリアデザインについて理解できる。	海技者・社会人に必要な一般的な素養やキャリアデザインを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	航海士として必要な技能および技術、特に船橋内における航海計器を中心に習得する。 3年までに得た航海士についての基礎知識をより専門的な知識へと昇華させる。 現時点で海技者になる為や社会に出る為に自分に足りていないと思う素養を知り、そのための知識を補う。				
授業の進め方・方法	実習及び演習を主体とする。 相互評価に「実技」等を含める。 ポートフォリオに「課題」等の評価物を含む。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、実験実習指導書、大島丸実習ノート、配布資料、関数電卓を持参すること。(担当教員に事前に確認する事) 安全について十分に配慮すること。 必要な場合は作業服、安全靴、帽子を着用してこること。(担当教員に事前に確認する事) 				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	航海学演習概説 レーダ講習 (1)	航海系の免許講習の内容や意義について理解できる レーダの原理や性能を理解できる	
		2週	レーダ講習 (2)	レーダの各部名称と機能を理解できる	
		3週	航海学講習 (1)	社会人として必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる	
		4週	レーダ講習 (3)	レーダの構造・構成を理解できる レーダの指示方式・探知能力を理解できる	
		5週	レーダ・ARPA講習I (1) マリタイムキャリアデザイン講習 I (1)	レーダプロットingの意義と速力三角形について理解できる 海技者としてのキャリアデザインを形成できる	
		6週	レーダ・ARPA講習I (1) マリタイムキャリアデザイン講習 I (1)	レーダプロットingの意義と速力三角形について理解できる 海技者としてのキャリアデザインを形成できる	
		7週	航海学演習 (2)	社会人として必要な一般的な素養やキャリアについて理解できる	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	レーダ・ARPA講習I (2) マリタイムキャリアデザイン講習 I (2)	用具を使用し、レーダプロットingを実施できる 海技者としてのキャリアデザインを形成できる	
		10週	レーダ・ARPA講習I (2) マリタイムキャリアデザイン講習 I (2)	用具を使用し、レーダプロットingを実施できる 海技者としてのキャリアデザインを形成できる	
		11週	レーダ・ARPA講習II (1) 航海計器準備 (1)	レーダプロットing実施上の注意事項を理解できる 船橋内の航海計器の起動・準備が実施できる	
		12週	レーダ・ARPA講習II (1) 航海計器準備 (1)	レーダプロットing実施上の注意事項を理解できる 船橋内の航海計器の起動・準備が実施できる	
		13週	レーダ・ARPA講習II (2) 航海計器準備 (2)	レーダプロットingから得られた情報を解析できる 船橋内の航海計器の設定・操作が実施できる	
		14週	航海学演習 (3)	海技者および海事クラスターについて広く理解し、説明することができる	
		15週	レーダ・ARPA講習II (2) 航海計器準備 (2)	レーダプロットingから得られた情報を解析できる 船橋内の航海計器の設定・操作が実施できる	
		16週	航海学演習 (4)	海技者および海事クラスターについて広く理解し、説明することができる	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0